

ロシア文化フェスティバル 2022 IN JAPAN

モイセーエフバレエ

Балет Игоря Моисеева

イーゴリ・モイセーエフ記念国立アカデミー民族舞踊アンサンブル

Государственный академический ансамбль народного танца имени Игоря Моисеева

世界を驚かせ魅了し続ける舞踊団

2022年10月、27年ぶり訪日公演

感動の
ロシア芸術を!

2022年

- 10月17日 日 17:30開場 18:30開演 東京・新宿文化センター大ホール (都営地下鉄新宿線「新宿三丁目」駅C7徒歩7分)
- 18日 火 17:30開場 18:30開演 東京・めぐろパーシモンホール大ホール (東急東横線「都立大学」駅徒歩7分)
- 19日 水 17:30開場 18:30開演 横浜・関内ホール大ホール (JR・市営地下鉄「関内」駅徒歩6分・みなとみらい線「馬車道」駅徒歩4分)
- 21日 金 17:30開場 18:30開演 埼玉・和光市民文化センターサンアゼリア大ホール

(東武東上線・東京メトロ有楽町線 / 副都心線「和光市駅」南口から徒歩13分)

バス:和光市駅南口から東武バス 西大和団地経由 司法研修所循環 乗車「和光市役所入口」(和光市駅南口から3つ目)下車徒歩1分)

全席指定:S席 12,000円 A席 8,000円 2021年公演のチケットはそのままご使用できます
お問合せ・チケット:ロシアン・アーツ:TEL03-5919-1051 (平日11:00-17:00) FAX03-3355-8901

*チケットぴあt.pia.jp (Pコード:509-465)、イープラス (eplus.jp) でも購入可能

*各会場でもチケット取り扱い予定 *未就学のお子様のご入場はご遠慮ください

招聘:ロシア文化フェスティバル日本組織委員会&ロシアン・アーツ

後援:ロシア連邦外務省、ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦協力庁、ロ日協会、INARTEX

ロシアを含む世界の民族舞踊をバレエで表現し、世界中で高く評価されているモイセーエフバレエ。
あふれ出すエネルギーや華やかさ、アーティストの超絶技巧を今秋日本でお楽しみいただけます。

公演プログラム(予定)

① ロシアの踊り「夏」

ロシア人の国民性の様々な面が見られる作品。素朴な人々のユーモアや抒情的な性格などを生き生きと描き出します。舞台は収穫祭。村人たちは老若男女若い恋人二人を祝うために集まっています。

② カルムイク人の踊り

カルムイク人は最近までヴォルガ川の河口近くの広大なステップを家畜とともに移動する遊牧民でした。彼らの踊りは、彼らの生活と動物や鳥たちとの深いつながりを感じさせます。この踊りでは、空を飛ぶ鷲、駆ける馬、恋の季節の雄牛の闘いが表現されます。

③ ギリシア舞踊組曲「シルタキ」

ギリシアの作曲家ミキス・テオドラキスの依頼でモイセーエフが振り付けた舞踊組曲。モイセーエフがギリシア旅行中に村の結婚式で見た民族舞踊をベースに作られています。「シルタキ」はギリシア語で群舞のことです。

④ タンゴ「デル・ブラータ」

アルゼンチンの港町ブラータで始まったといわれるタンゴの現在にいたる歴史を、モイセーエフバレエ団とアルゼンチンの振付師ローラ・ロアッタによる振付で表現。神秘的な見知らぬ女が秘密のヴェールを開けます。現われるのはあらゆる色、気持ちや感情があふれるタンゴの世界です。

⑤ シチリアのタランテラ

タランテラはイタリア南部に伝わる8分の6拍子の活発な舞曲。ここではシチリア島の伝統的な民族舞踊の要素をベースに振付けられました。この舞台には馬車が登場します。

⑥ アドゥイゲの踊り「トリャパテト」

トリャパテトはアドゥイゲ人の昔の靴。踊り手の動きは抑制されており、

重厚感があり、動きが優美です。全体として、「トリャパテトをはいて踊るダンス」は明るくカラフルな展開で、聴衆をアドゥイゲ人の何世紀にもわたる歴史の魅惑的な世界に惹きこんでいきます。

⑦ モルダヴィア人の滑稽な踊り「タバケリヤスカ」

モルドヴァのある村の朝。美しい若い娘が洗濯をしようとしていると、彼女の崇拜者たちが現れて言い寄ってきます。困った娘は彼らめいめいに布を渡し、洗濯を教えます。彼らが洗濯に夢中になっていると、娘は笑いながら逃げ出します。モルドヴァの民族舞踊の要素をベースにした踊りです。

⑧ メキシコ舞踊組曲「サパテオ」「アヴァリュリコ」

この踊りは2部構成です。最初は「サパテオ(靴音)」男性のペアが踊ります。男性たちが踊りのテクニックで女性の心をつかもうとします。2つ目は「アヴァリュリコ」、男女一緒に踊ります。振付は伝統的なメキシコの民族舞踊がベースになっています。

⑨ アラゴンのホタ

アラゴンのホタは18世紀末にスペインのアラゴン地方で生まれたペアで踊るスペイン舞曲。ロシアの作曲家ミハイル・グリンカの曲「スペイン序曲第一番ホタ・アラゴネーサ」に合わせたモイセーエフ振付の「アラゴンのホタ」は、モイセーエフバレエの最も有名なレパートリーの一つ。

⑩ アルゼンチンの牧童の踊り「ガウチョ」

アルゼンチンの牧童たちが自分の腕前を披露する、三人の男性ソリストの踊り。薄闇の中で乗馬靴の拍車が鋭く光ります。

⑪ 水兵の踊り「ヤープロチコ」

組曲「艦上の一曰」の断片で、古くから伝わる水兵の踊り歌「ヤープロチコ(りんご)」を主題にしています。水兵の毎日は辛いことも多いのですが、彼らはいつも上機嫌です

*プログラムは出演者の都合などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。



モイセーエフバレエとは

1937年に20世紀最大の舞踊家・バレエ振付師のひとりリーゴリ・モイセーエフ(1906-2007)により結成。民族舞踊の解釈と紹介を行う世界初のプロフェッショナル舞踊団。世界のバレエ史を変えたと言っても過言ではない。バレエ団が第一の原則としているのは継承、そして伝統と新機軸の芸術的解釈。モイセーエフは初期の団員たちに、当時存在していたフォークロアの芸術的編集をするよう命じ、彼らは民族学的調査のため各地に散った。団のレパートリーとして舞台用に新たな命を吹き込まれたフォークロアは、何世代にもわたって世界中の観客の中に残っている。

●ロシア文化フェスティバル日本組織委員会事務局&株式会社ロシアン・アーツ

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-7-1エルプリメント新宿506 TEL:03-5919-1051 FAX:03-3355-8901

e-mail: russian-culture@vlew.ocn.ne.jp URL:http://russian-festival.net